

消費生活Q & A インターネット契約



(安 しんすちゃん)

なごワン、大手電話会社だと名乗って、インターネット料金が今より安くなるという電話がかかってきたんだけど、本当に安くなるのかな。



(なごワン)

実際に安くなるかは、しっかり調べてみないとわからないワン。別の会社に変更したことで、事務手数料やオプションプランが付いていたことに気付かずに、むしろ高くなる場合もあるワン。それから、解約する際に違約金が発生することもあるので、しっかり確認することが大事だワン。



(安 しんすちゃん)

そうなんだね。インターネットの契約は、目に見える商品を購入するわけではないから、トラブルに気付いてもどうすればいいかわかりにくいね。



(なごワン)

そうだワン。インターネットの契約は、内容が複雑でわかりにくいから、勧誘を受けた時は、必ず契約先の会社名やサービス内容を確認することが大事だワン。わからないときは、契約する前に消費生活相談窓口にご相談するといいワン。

消費生活相談

毎週月曜日（※祝日は除きます）午前9時～午後4時
 和水町役場本庁2階 ※相談希望の場合は、事前に電話連絡をお願いします。
 連絡先：和水町役場 総務課 TEL 0968・86・5720

協力隊活動記 ～VOL.3～

第3弾は、蒲池 将裕さん（東吉地）を紹介します。

私は、高校卒業後上京し、その後さまざまな都市を仕事の活動拠点としていました。3年前まで、インドネシアで畜産関係と飲食業の仕事をしていたのですが、地元にいる家族のことなどを考えた結果、故郷である和水町に戻ってきました。地域おこし協力隊として、平成28年2月から活動を始め、地元特産品の商品開発に取り組んでいます。

また、協力隊としてさまざまな行事に参加して、地域の人と出会い、町内の地域の風習が少しずつ見えてきました。そのなかで、再来年は金栗四三翁の大河ドラマの放送が決定しました。私も地域の地域づくり団体「富貴の里吉地」の事務局として、生家周辺の環境美化活動や金栗四三翁の記念講演の開催などを計画しています。

そのほか、災害ボランティア活動にも積極的に参加しています。熊本地震では、他の協力隊員とともに炊き出しボランティアを行いました。以前の仕事のネットワークを通じ、寄附やボランティアの協力を受け、人のつながりの大切さを改めて実感しました。私が協力隊となって1年半の間に、大きな災害が九州では続いているのですが、ボランティアを通じ、人と人をつなぐのも、協働による地域づくりだと思い、活動を続けています。

こんな私ですが、どうぞよろしくお願いします。



蒲池です。
 再来年の金栗四三翁の大河ドラマ化に向けて、皆さんと一緒に和水町を盛り上げていきます！



熊本地震における協力隊での炊き出しボランティア活動

問い合わせ先 本庁 まちづくり推進課 地域振興係 ☎0968・86・5721

特別企画

高みを目指せ！

和水アスリートの挑戦



ひろた さやか さん（龍門出身）
 廣田彩花さん

和水町出身で、東京オリンピックを目標にがんばっているアスリートを知っていますか。

廣田彩花さん（23歳）は、益城町にあるバドミントンの強豪、再春館製菓所バドミントン部に所属。

今回、東京オリンピックを目指してバドミントンに打ち込む廣田さん取材しました。

「バドミントンとの出会いは5歳。両親がバドミントンをしていて楽しそうだったので始めました。始めた当時は、今の状況は想像もしていませんでした。」

益城町にあるバドミントンの強豪、再春館製菓所バドミントン部に所属している廣田彩花さんは、自然とバドミントンを始める環境で育ち、父の指導のもと、めきめきと力をつけていった。

高校は県内の強豪校に進学し、バドミントン漬けの毎日を過ごした。

「高校2年生の時、JOCジュニアオリンピックで全国準優勝したことは、バドミントン人生で印象に残っている試合の一つです。」

全国でも戦える手ごたえを掴み、高校卒業後もバドミントンを続け、現在、益城町にある再春館製菓所バドミントン部に所属している。日本代表にも選出され、充実した毎日を過ごしている。



廣田さん（左）とダブルスでペアを組む福島さん

世界ランキング1位の選手に勝つほどの実力をつけた廣田選手。バドミントンに感謝しているという。

「バドミントンを通して多くの出会いがありました。応援はとも力になりますし、活躍してみなさんに恩返ししたいと思っています。東京オリンピックでメダルを獲ることが1番の目標です。」

力強く話したその視線の先には、東京オリンピックがはつきり見えている。